

登校時の交通整理

交通整理の基本的な心構え・・・自分の子供を胸に抱え「子どもを車から守る」気持ちで

1. 交通当番の立つ位置の基本

- (1) 交通当番が1人の時は、子供が横断を始める側に立つ。
- (2) 左側通行の自動車を横断歩道の手前で止める位置(横断歩道の右側)に立つ。

例外→右側の車が来ておらず、左側から車が来ているときは横断歩道の左側に立つ。

押ボタン信号機の押しボタンは横断歩道の左側にあることが多い。

その場合ボタンを押し、すみやかに横断歩道の右側へ移動する。

2. 旗を出す方向

- (1) 横断歩道が青信号になれば、旗は横断歩道と平行に胸から肩の高さにはっきり出す。
旗をブラブラ動かしたり他人の人から見て何をしようとしているのかわからないようなことはしない。
交通当番は歩道に戻るまでそのままの旗の姿勢とする。歩道に戻る前に旗を下げない。
- (2) 子供を信号待ちさせる場所は、通行する自転車等の邪魔にならない位置とする。
- (3) 横断歩道が青点滅信号の時は、新たに横断しようとする子供は横断させない。

「早く早く」と言って横断させるのは絶対ダメです。また、子供は渡りかけて点滅になると引き返してくる子がいます。それは正解です。この時子供が渡ると思って発進する車がありますので特に注意しましょう。

3. 交通当番は、子供を横断歩道のどこまで送るか

青信号で子供を横断させるときは、道路の中央付近まで送る。

交通当番が子供を道路の中央付近まで送っていき、歩道に戻る時にはご自身の事故防止に十分注意しましょう。止まっていた左右折車が発進してきます。また、この時遅れてきた子供が横断しようと横断歩道に走り込んでくることもあり、発進しようとする車と衝突しそうになります。大変危険なので特に注意が必要です。

(旗を出し、それに従って待っていてくれた車には会釈をしましょう)

4. 横断を始めるときの注意

青信号になっても子供をすぐに横断させない。右、左、もう一度右を確認して手を挙げて横断するように癖付けをしましょう。このことは子供が信号待ちをしているときに教えておきましょう。

5. 整理に従わない車があることへの注意

旗を出しても止まってくれない車があるので十分注意しましょう。特に自転車は止まらないことが多い。

6. 子供との楽しいあいさつ

子供には「おはよう」等、楽しく挨拶を交わしましょう。

7. 終了時の注意

交通当番を終わるときは、四方を見渡し、遠くから子供が来ていない事を確かめて全ての子供が通行してから終るようにしましょう。